

熊野古道周辺の整備について

【内容】

熊野古道周辺に国民宿舎のようなものがないか。また、物産センターをつくってはどうか。

【回答】

熊野古道周辺の宿泊施設は、本宮地域はご承知のとおり、温泉町として民間の施設が事業展開しており、道中である中辺路地域においては、近露周辺に9軒営業しています。確かに、中辺路・近露地域の収容能力は大きくはないですが、慢性的な収容能力不足に陥っているとは認識しておりません。

市としては、ご提言いただいた宿泊施設等は基本的に民間の経済活動による事業展開が望ましいと考えていますが、熊野古道周辺においては、世界遺産として認められた「地域住民の暮らしを含む文化的景観」を損ねるような施設整備には警鐘を鳴らさなければならないと考えます。市の観光行政にとって世界遺産の保全・活用は最重要課題です。住んでいる人が誇れて、旅人が訪れてみたいと思えるまちづくり、息の長い継続的発展を目指したいと考えています。

物産センターの整備については、本宮ビジターセンター整備や道の駅の活用において考えていきたいと思えます。

(担当：観光振興課)